



青き楓

島高だより
令和2年1月号
(通巻第166号)

長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

校長室から

水と緑の島原

校長 渡邊 孝経

校長室に「水と緑の島原 百四才西望」という北村西望氏の書を陶板にした置物がある。西望氏をご存知のとおり、南島原市出身の大彫刻家で、代表作に「長崎平和祈念像」などがあるが、この置物は昭和62年に島原市で開催された「全国水環境保全市町村シンポジウム」のために、西望氏が揮毫されたものを島原市が陶板にしたものである。

昭和60年に「全国の名水百選」に入り、平成7年に「水の郷百選」に選定された島原の水は、今も島原に住む人と訪れた人の喉を潤している。島原市HPによると、現在島原市には70カ所を超える湧水池があり、その湧水量は一日20万t。湧水は湧き出した時期によって、大きく二つに分けられ、古くからあるのが溶岩泉。島原大変以前からあるもので、武家屋敷街、城内、焼山、上の町にある湧水がそれである。もう一つが扇状地泉。1792年の島原大変による雲仙岳噴火と眉山崩壊による偶発地震で誘発されたもので、商店街中心部の湧水がそれである。この歴史的大災害は人々に大きな被害を与えたと同時に、「湧水」という自然の恵みをもたらしてくれたわけである。

島原の湧水については、小説家の司馬遼太郎氏が「古丁の角屋敷の角までくると、石垣の角にくぼみがつくられているのを見た」「この石垣の基部が溝になっていて清水が湧いているのである。『飲料水』と書かれた小さな札が石垣にぶらさがっていて、アルマイト製のひしゃくが、石垣のすきまにさしこまれていた。（中略）ひしゃくをとって、溝のなかの湧水を汲んで飲んでみると、味にまるみがあってじつにうまかった」など書き残しているし、東京から来た同行者がくたびれ果てているのを見て「あの水を飲みに行けば元気になる」と勧めまでしている。司馬氏は『街道をゆく』の取材で、昭和55年に3泊4日の旅で島原と天草を回られているが、島原城に行く途中で「あの建物は、何ですか」と島原高校のことを聞き、本校のことを知ったことも書き残している。また、司馬氏が紹介している古丁の水飲み場は私の自宅近くにあり、以前はそこで水を飲んでいたし、夏にはスイカや麦茶を冷やしていた。司馬氏の文章を読んだ後そこに立つと、不思議と司馬氏の立っている風景が見え、司馬氏と共有している感があり、嬉しくなる。

ところで、水というと、「上善は水の如し」という老子の言葉があるが、そこから晩年に「如水」の名を取った黒田官兵衛（豊臣秀吉の知恵袋）は、「水五訓」として

1. 自ら活動して他を動かしむるは水なり（自らが動いて、他の者を動かせ）
2. 常に己の進路を求めて止まざるは水なり（自らが信じた道を拓き、貫け）
3. 障害に逢いて激しく勢力を倍加するは水なり
（障害があっても、耐えて努力すれば貯まる力は増していく）
4. 自ら潔くして他の汚濁を洗い、清濁合わせ入るは水なり
（人を追いやることをせずの良いところを見つけ共に進もう）
5. 洋々として、大洋を満たし、発しては蒸気となり、雲となり、雨となり、雪と変じ、霞と化し、凝しては玲瓏たる鏡となり、しかも其の性を失わざるは水なり
（さまざまな場において柔軟な考えで自身を変化させ成長せよ）

の教えを残している。水というものを通して、人としての生き方を述べている。

たかが「水」されど「水」である。

72回生 勝負の刻！

3学年主任 森崎 悟

72回生199名が、1月18日・19日に実施された「大学入試センター試験」を長崎大学で受験してきました。前日の17日に行われた出陣式では、佐藤PTA会長様、校長先生から激励の言葉をいただき、さらに、出発の際にはPTAの皆様並びに在校生の見送りを受け、元気づけられました。本当にありがとうございました。

現在は、出願校を決定し受験の対策を各自準備しているところです。来年度から受験のシステムが変更されるため、72回生もピリピリした雰囲気受験の正念場を迎えています。「大志を掴み取る」まで72回生は頑張りますので、最後まで温かい応援をお願いします。



今後の日程

- 国公立大学前期日程試験
2/25（火）から
- 前期日程試験合格発表
3/6（金）から
- 公立大学中期日程試験
3/8（日）から
- 国公立大学後期日程試験
3/12（木）から
- 中期・後期日程試験合格発表
3/24（火）まで

2月の主な行事予定

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1日（土）土曜講座（全学年） | 15日（土）土曜講座（3年） |
| 2日（日）駿台ハイレベル模試（1年）
東大模試・全統模試（2年） | 18日（火）学年末考査（1・2年～21日） |
| 5日（水）高校入学者選抜（推薦）
1・2年：自宅学習
3年：3校時まで授業後、下校 | 21日（金）特別編成授業終了（3年）
卒業研究発表会（3年） |
| 8日（土）土曜講座（1・3年）
進研マーク模試（2年～9日） | 22日（土）土曜講座（全学年） |
| 10日（月）学年末考査時間割発表（1・2年）
部活動休止（～20日） | 25日（火）国公立大学前期日程試験（～26日） |
| 13日（木）雲仙百年の森づくり記念植樹（3年） | 28日（金）卒業式式場設営・大掃除 |
| | 29日（土）卒業証書授与式予行
卒業記念品贈呈式・同窓会入会式 |
| | 3月1日（日）第72回卒業証書授与式 |

校内マラソン大会

保健体育科

1月29日（水）に島原市陸上競技場外周において、第41回校内マラソン大会が実施され、男子は8km、女子は5kmを走りました。2年に一度の開催で、1・2学年の生徒、約450名が参加するマラソン大会は、スタート前から冷たい空気に包まれましたが、生徒たちの力走や参加者全員の完走もあって、無事に終了することができました。競技場の南側には音を上げてしまうような急傾斜の長い坂道が設定されていますが、生徒たちは諦めずに我慢強く走っていました。まさに、大会の目的である「強い意志」「忍耐力」「調整力」を養う素晴らしい機会となり、今後の高校生活や人生につながっていくと期待しているところです。

ゴール後は学校に戻り、保護者の方々が準備してくださった温かく美味しい豚汁をいただきました。愛情と栄養たっぷりの一汁に、生徒たちは心身の疲れが癒され、食のありがたさを痛感していたようでした。沿道での応援や炊き出しにご協力をいただいた保護者、地域の皆様に感謝申し上げます。



上位入賞者

【1年男子の部】	【1年女子の部】
1位 一ノ瀬喬大（1-4）	1位 早稲田純礼（1-6）
2位 吉田聖志郎（1-5）	2位 吉岡 斗南（1-4）
3位 菅 心之輔（1-6）	3位 溝田 萌莉（1-6）
【2年男子の部】	【2年女子の部】
1位 馬渡健二郎（2-4）	1位 塩土 憂（2-1）
2位 森崎悠太郎（2-4）	2位 吉田 真子（2-3）
3位 榎木 駿太（2-3）	3位 林 穂乃花（2-4）

主な部活動実績紹介

レスリング部

全日本ジュニアオリンピックカップ
レスリング競技九州予選会

フリースタイル 61kg 級	優勝	落水健太
グレコローマンスタイル 72kg 級	優勝	森崎悠太郎
グレコローマンスタイル 77kg 級	優勝	濱崎湧太
カデット 48kg 級	第5位	地田優太
カデット 71kg 級	第5位	菅仁亮
カデット 110kg 級	第2位	稲本喬弘
フリースタイル 47kg 級	第3位	甲斐愛燦
フリースタイル 68kg 級	優勝	古賀美颯野

水泳

第29回長崎県高等学校冬季室内水泳競技大会

50mバタフライ	優勝	中川咲希
100mバタフライ	優勝	中川咲希

剣道部

全国高等学校選抜剣道大会長崎県予選大会

男子団体 **優勝 ※全国選抜大会出場決定**
最優秀選手 又吉奏太 優秀選手 井上陽向

女子団体 **優勝 ※全国選抜大会出場決定**
最優秀選手 峯松加奈 優秀選手 平山詩菜

第28回諫早市中学校・中地区高等学校学年別剣道大会

高校1年男子の部
優勝 小山颯 第3位 安田裕也、下田慎太郎

高校2年男子の部
優勝 井上陽向 第2位 又吉奏太 第3位 中村涼

高校1年女子の部
優勝 生田琴華 第2位 井上心春 第3位 山崎衣理

高校2年女子の部
優勝 峯松加奈 第2位 平山詩菜
第3位 林穂乃花、伊藤朱里

その他 第58回全国高等学校生徒英作文コンテスト
入選 山下深月

生徒会サミットに参加して

生徒会指導部

1月11日（土）に長崎県高等学校生徒会サミットが諫早文化会館で行われ、島原高校からは生徒会常任委員のうち4名が参加しました。午前中は県央地区の交流会、午後からは県全体の交流会および講義・演習・全体発表・分科会発表が実施されました。今後の生徒会活動の活性化につながる経験となったことと思います。

【生徒感想】



生徒会サミットでの交流会を通して、コミュニケーションをとることの大切さや楽しさを学ぶことができました。私は自分から話しかけることが苦手でしたが、みんな親しみやすく、とても楽しく会話することができました。また、自分では思いつきそうもない他校生の考えを知り、生徒会活動においては特に意見を交換することの大切さを感じました。

1年6組 小島 浩登

サミットで視聴した過去の高校総文祭の映像に感動しました。合唱やダンス、劇など、さまざまな方法でテーマを表現していて、明確で誰にでも分かりやすい方法だと感じました。来年度の120周年の青楓祭では、会場を巻き込んだ一体感のある、島原高校の力を伝えることのできるような文化祭にしたいと強く思いました。

1年4組 吉本 あこ



「私の町のジオパーク」発表会

理科 寺井 邦久



12月18日（水）の6・7校時に、1学期から進めてきた地学講座の発表会があった。テーマは「私の町のジオパーク」で、1年理数科生徒の出身地のジオパークを紹介する。布津町の海岸にある「すくい」の紹介は現地写真と航空写真を使って分かりやすく紹介した。自分の家の庭石に捕獲岩という特別な岩石が含まれていることを紹介した作品もあった。貝崎断層の紹介ではパワーポイントの様々な表現方法を駆使して、印象的な作品に仕上げていた。「こんなに島原半島にはおもしろい場所があり、とても楽しかった。」という生徒の感想が多く見られた。

